

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名 恵那高等学校 学校運営協議会 (第3回)

2 開催日時 令和8年2月5日 (木) 13:00~15:00

3 開催場所 恵那高等学校会議室
開催にあたり、委員による授業参観（1年生総合探究学年発表会）を実施した

4 参加者

会長	伊藤 勝彦	恵那市議会議員 元中学校長
副会長	鎌田 基予子	元恵那市教育委員（書面参加）
委員	秋山 浩司	東海神栄電子工業株式会社代表取締役社長 (書面参加)
	新井 麻美	恵那くらしふジネスサポートセンター（書面参加）
	阿部 伸一郎	本校同窓会会长、セントラル建設（株）社長 (書面参加)
	岡田 庄二	恵那市教育長
	大崎 大地	本校PTA会長
	西尾 新	恵那市立恵那東中学校長 (書面参加)
	蜂谷 明子	蜂谷医院医師
	本多 京子	本校卒業生
学校側	森岡 孝文	校長
	永瀬 雅彦	事務部長
	丹羽 静	教頭
	粥川 貴也	教務主任
	渡瀬 佳吾	生徒指導主任
	林 正幹	進路指導主任
	石原 泰三	保健主任
	野村 育	探究企画部長
	佐々木俊哉	探究理数科部長
	原田 健	研修主任

5 会議の概要（協議事項）

(1) 令和7年度自己評価及び学校関係者評価について
①教務部（含む研修部）②生徒指導部③進路指導部④探究企画部⑤探究理数科部
取組状況・実践内容・評価項目の達成状況等及び成果と課題、来年度に向けての改善方策等の説明を行った。

意見 1 : 1年生の総合探究について、2年生に向けてどのようにつなげていくのか。
⇒継続していくグループはそのままで、新たにテーマ設定するグループは現2年生からアドバイスをもらいながら3月に決定していく予定。

意見 2 : 来年度の1年生はどのようにテーマを決めていくのか。
⇒4分類8テーマのうち今年度良かったテーマは継続し、見直すテーマは市役所と意見交流しながら決めていく。

意見 3 : 進路指導について個々の生徒に対しきめ細やかな指導できている。

意見 4 : 自治体や地元企業と連携し、地域課題に目を向けているところが新鮮である。

意見 5 : 地域の中学生は全国や世界に目を向けることが少なくなっていると感じる。大学や海外の魅力を伝えることが大切である。
⇒大学説明会や本校の留学制度を通じて大学や海外の魅力を発信していきたい。

意見 6 : 生徒会 Instagram によって、本校の魅力がよく伝わるようになった。生徒の発信力がついてきていると感じる。

意見 7 : 学校経営方針が明確であり、それにより生徒が自信を持って学習しているところがよい。

意見 8 : 本校の魅力が中学校にも伝わり、より多くの地元中学生が本校を志望してくれるといい。
⇒本校の生徒が中学生に直接話をしたり、SNSを利用したりし、魅力を発信していきたい。

意見 9 : 生徒の座る姿勢が悪いと感じた。肩こりや目の疲れが心配である。
⇒保健だよりなどを通じて生徒に正しい姿勢を意識させていきたい。

意見 10 : 生成AIの普及により、生徒が自分自身で考える探究でなくなるのではないか懸念される。
⇒生成AIを適切に利用するとともに、これまでのようく生徒が自ら考え、試行錯誤していく探究学習を大切にしていきたい。

意見 11 : SSHの事業について、中学生に正しく伝わっていないのではないか。
⇒今後、高校生が中学生に対しSSHの内容や本校の魅力を伝える機会を増やしていきたい。

意見 12 : 中学校においても探究学習の良さは感じている。より発展的な探究学習を本校で担ってもらえるとよい。
⇒中学生が本校の生徒と連携したり、中学校の教員が気軽に本校の授業見学をしたりできる仕組みを構築していく予定である。市教育委員会の協力も得たいと考えている。

意見 13 : 探究エレメントを実施することで、普段の授業を大切にするようになったのか。
⇒探究学習において、統計を扱ったり、英語で発表したりする機会を通して、普段の授業の重要性を改めて認識する生徒が増えている。教員も探究エレメントを意識した授業を行うようになった。

6 会議のまとめ

令和7年度の「年度末評価（自己評価）」や「来年度に向けての改善方策」について、多くの委員から本校の取組みに対する理解と支持が得られた。また、来年度、「恵那未来塾（仮）」の実施を検討している。これは地域の理数教育の底上げを図る事業で、具体的には地元中学生に対し、探究学習や科学作品の助言やサポートを行ったり、中学校の教員が本校の探究学習を参観したりすることで、生徒や教員の資質向上を図るものである。今後も地域や自治体、中学校と連携しながら、理数教育の拠点として、魅力ある学校づくりを進めていきたいと考えている。